

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成30年11月22日 (2018.11.22)

【公表番号】特表2017-533394(P2017-533394A)

【公表日】平成29年11月9日 (2017.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-043

【出願番号】特願2017-540964(P2017-540964)

【国際特許分類】

F 1 7 C 13/02 (2006.01)

【 F I 】

F 1 7 C 13/02 3 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月11日 (2018.10.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

伝導性材料圧縮複合タンク用の追跡システムにおいて、
包み込み領域 (1 3 0) によって包囲されるプラスチックライナー (1 2 0) および内
部体積空間 (1 3 3) を有する複合圧縮タンク容器 (1 0 0) と、
閉鎖末端 (1 5 5) および解放基端 (1 6 0) を具備する、プラスチック製、非カーボ
ン性のブラインドボス (1 5 0) であって、当該閉止末端 (1 5 5) が上記ライナーに固
着されている、上記ブラインドボスと、
環状壁部 (1 6 2) により包囲された、上記ブラインドボスのキャビティ (1 6 4) と

、
上記ブラインドボスの上記キャビティ中に固着されたアンカー材料 (2 0 0) と、
上記アンカー材料中に固着された R F I D 装置とを有することを特徴とする、追跡シ
ステム。

【請求項 2】

請求項 1 記載の伝導性材料圧縮複合タンク用の追跡システムにおいて、さらに、
上記 R F I D 装置中のメモリにストアされたデータと、
上記 R F I D 装置と信号通信を行う R F I D 読取器とを有し、
上記 R F I D 装置の上記メモリにストアされているデータが読みだされる、通信シ
ステム。

【請求項 3】

請求項 1 記載の伝導性材料圧縮複合タンク用の追跡システムにおいて、上記ブラインド
ボスは粗面化された内部環状壁部 (1 6 2) を有する、追跡システム。

【請求項 4】

請求項 1 記載の伝導性材料圧縮複合タンク用の追跡システムにおいて、ブラインドボ
スはその内部環状壁部にネジ溝が形成される、追跡システム。

【請求項 5】

請求項 1 記載の伝導性材料圧縮複合タンク用の追跡システムにおいて、そのキャビ
ティ内に突起 (4 5 0) を有する、追跡システム。

【請求項 6】

請求項 1 記載の伝導性材料圧縮複合タンク用の追跡システムにおいて、さらに、部分的

に上記キャビティ内において上記内部環状壁部と固着される挿入可能な端部スリーブ（５００）を有し、もって、上記スリーブが上記ブラインドボスの上記解放基端の直径を有効的に減少させる、追跡システム。

【請求項 ７】

請求項 １記載の伝導性材料圧縮複合タンク用の追跡システムにおいて、さらに、部分的に上記キャビティ内において上記内部環状壁部（１６２）に固着される挿入可能なプラグ（７００）を有し、もって、上記プラグが上記アンカー材料および上記ＲＦＩＤ装置を含む、追跡システム。

【請求項 ８】

請求項 １記載の伝導性材料圧縮複合タンク用の追跡システムにおいて、さらに上記内部環状壁部上に付加的なアンカー材料（１７０）のコーティングを有する、追跡システム。

【請求項 ９】

請求項 ２記載の伝導性材料圧縮複合タンク用の追跡システムにおいて、上記ＲＦＩＤ読取器が上記ＲＦＩＤ装置から読みだした情報をネットワーク（１１００）に供給する、追跡システム。

【請求項 １０】

伝導性材料圧縮複合タンク用の資産管理システムにおいて、
包み込み領域（１３０）によって包囲されるプラスチックライナー（１２０）および内部体積空間（１３３）を有する複合圧縮タンク容器（１００）と、
閉止末端において上記ライナーに固着され、解放基端（１６０）と、環状壁部（１６２）により包囲されたキャビティ（１６４）とを具備する、プラスチック製、非カーボン性のブラインドボス（１５０）と、
上記ブラインドボスの上記キャビティ中に固着されたアンカー材料（２００）と、
上記アンカー材料中に固着されたＲＦＩＤ装置と、
上記ＲＦＩＤ装置と信号通信を行うＲＦＩＤ読取器（１０００）とを有することを特徴とする、資産管理システム。

【請求項 １１】

請求項 １０記載の伝導性材料圧縮複合タンク用の資産管理システムにおいて、上記ＲＦＩＤ読取器がネットワーク（１１００）を通じてサーバ（１１２０）と信号通信を行い、上記ＲＦＩＤ装置から収集したデータを上記サーバに供給する、資産管理装置。

【請求項 １２】

請求項 １１記載の伝導性材料圧縮複合タンク用の資産管理システムにおいて、上記ＲＦＩＤ読取器は、約５メートルまでの距離で、上記ＲＦＩＤ装置と信号通信を行う、資産管理装置。

【請求項 １３】

請求項 １１記載の伝導性材料圧縮複合タンク用の資産管理システムにおいて、上記ＲＦＩＤ読取器は、約１０メートルまでの距離で、上記ＲＦＩＤ装置と信号通信を行う、資産管理装置。

【請求項 １４】

請求項 １１記載の伝導性材料圧縮複合タンク用の資産管理システムにおいて、上記ＲＦＩＤ読取器は、約１５メートルまでの距離で、上記ＲＦＩＤ装置と信号通信を行う、資産管理装置。

【請求項 １５】

請求項 １１記載の伝導性材料圧縮複合タンク用の資産管理システムにおいて、上記サーバは供給された上記データを分析して上記データの少なくともいくつかをリモートのコンピュータ装置（１３００）に供給する、資産管理装置。

【請求項 １６】

請求項 １０記載の伝導性材料圧縮複合タンク用の資産管理システムにおいて、さらに、入力装置（１２００）を有し、上記入力装置（１２００）が上記ＲＦＩＤ読取器（１０００）と同時に、これに限定されないけれども、jpeg、mpeg、ジオグラフィック位

置、温度、動力車 I D、日付および時刻の 1 つまたは複数を含む他のデータを収集し、上記入力装置は上記他のデータを上記ネットワークを通じて上記サーバに供給する、資産管理装置。

【請求項 17】

複合伝導性圧縮タンクを追跡する方法において、

複合圧縮タンク容器のプラスチック製ライナーに、開放キャビティを具備するブラインドボスを固着または形成するステップと、

上記キャビティ中にアンカー材料を用いて R F I D を固着するステップと、

上記 R F I D 装置のメモリ中にデータをストアするステップと、

ストアされた上記データを R F I D 書き込み器 / 読取器で読み出すステップと、

収集されたデータをネットワークを通じてサーバに供給するステップとを有することを特徴とする方法。

【請求項 18】

請求項 17 記載の方法において、上記 R F I D 書き込み器 / 読取器を用いて上記 R F I D 装置にデータを書き込むステップをさらに有する、方法。

【請求項 19】

請求項 17 記載の方法において、上記 R F I D 装置のデータの読出しと同時に入力装置を用いて他のデータをネットワークに供給するステップをさらに有し、上記他のデータは、j p e g、m p e g、ジオグラフィック位置、温度、動力車 I D、視覚的検査のうちの少なくとも 1 つである、方法。

【請求項 20】

請求項 17 記載の方法において、上記アンカー材料は低誘電性を有する、方法。